





# 新年

空けまして

おめでとう

ございませす

新しいこの一年、この言葉のように空っぽではなく、

密度の濃い一年とできるよう共に頑張りたいましよう。

去年は結局、やることをどんどん  
後回しにしちやって目標を何も達  
成できなかつたなあ・・・

よっしゃ！

今年こそは去年の反省を踏まえ  
て、達成できなかつた目標を達成し  
てみせる！

『新年における定型文。』

八月頃からの定型文は勿論、

来年から頑張る。』

オッス！ワシ、新快速や！誰にも負けへん速さや、らっも西日本  
 でお客さんを快速に運んどのんやっせ。

まっじゃ、今日も時速130キロや！どんどの駅抜かしたるやー

ん？あれって……

トラック？

まてまてまてまて、おいおいおいおいおいおいおい、お前、な  
 にしとんねん、遮断機降りとるやんか！ブレーキ、非常ブレーキ！

キーーーーーッ！！！！！！

いや、今は時速130キロ、ワシの非常ブレーキの減速度は5.2km/h/s  
 で、踏切はここから200m<sup>≡</sup>やから、踏切進入時の速度は時速97キロ、  
 進入まであと6秒……。

ギヤアアアアア！！！！

「えー、お客様にご案内いたします。先ほど、東海道本線、山崎―島本間の西  
 谷踏切におきまして、大型トラックと新快速の衝突、脱線事故が発生いたしま  
 した。この影響によりまして、現在、東海道本線は当駅、京都から新大阪まで  
 の上下線で運転を見合わせております。本日中の運転再開のめどは立っており  
 ません。お客様には大変ご迷惑をおかけいたします。深くお詫び申し上げます、  
 申し訳ございません。なお、現在、振替輸送の準備を行っております。振替輸  
 送開始までしばらくお待ちください。」

上京してから初めての帰省。  
東京へ新しい刺激と大きな成功を求め  
両親の反対を振り切り故郷を飛び出した俺は  
幾多の挑戦と挫折で疲れていた。  
あれからもう十年も経つ。

新幹線の座席から見える景色に耽っていた。  
窓より覗く景色にはもう銀色のビル群はなく  
既に茶色と白色の森林に変わっていた。  
コンクリートジャングルに慣れた俺には  
故郷に似たこの景色はむしろ新鮮に見えた。

車内の暖房が効き過ぎているせいかわく。  
俺はそっとペットボトルを口元へ運んだ。  
すると一人の女性が俺に声を掛けてきた。

——相席、よろしいですか……。  
都会での疲れと帰省への不安が人を恋しく思っていた俺に  
断る理由は何一つなかった。

彼女もまた俺と同じ駅で降りるそうだ。

彼女と会話するうちに懐かしい気持ちで満たされる。

彼女とは何処かで会ったことがある、そんな気がする。

彼女の容姿、彼女の匂い、彼女の仕草——

目的の駅名が車内に響き渡る。

俺は降車の準備をすると

——もつと前に、貴方とお会いしたかったです。

彼女はそのままデッキの方へと向かった。

俺は隣の座席にある手帳に気付いた。

すぐに彼女の元へと駆けた。

しかしそこには彼女の姿はなかった。

置き忘れた手帳に書かれた彼女の名前。

そして俺は初めて分かった。

新しいものだけに目が眩み

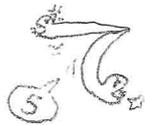
忘れてはならない過去を忘れていたことを。

帰省した俺は久しぶりに会う両親と和解をした。

そして彼女の眠る白化粧をした土に訪れた。

彼女の手帳——彼女の記憶を携えて。

そうだ  
故郷、  
行こう。



今日からは授業になるべく出よう。

『新学期』

Silica:>>Liz 明後日が今から楽しみだよ。渋谷ハチ公前に一時、遅れないでよ？

Liz:>>Silica 大丈夫だよ！ 私はゲームのキャラと同じような恰好してくから！

Silica:>>Liz 私は赤いワンピースで、ツインテールに赤いリボンをしてくよ。

Liz:>>Silica 全身真っ赤じゃん(笑) じゃ、明後日ね。

Silica:>>Liz いいじゃん好きなんだし(笑) じゃね。

## 〜新友〜

私はもう何度目か、腕時計を見る。時刻は十二時四十五分。まだ約束の時間まで十五分ある。今日は日曜日。辺りに人は嫌になるほど多いけど、赤白の服を着たピンクの髪の女の子はいない。

私は今日ここで知り合いと待ち合わせをしている。友達…と言えるかどうかは分からないけど。私と彼女が出会ったのはネットの世界。オンラインゲームの中のこと。お互い始めたばかりのときに出会って、右も左も分からないなか協力して頑張った。そのままよく一緒にプレイしていて、今では彼女以上に『親友』と呼べる存在はどこにもいないとさえ思える。

でも、それは向こうの世界でのこと。現実では名前も、どこに住んでいるのかも、性別すら知らない、はつきり言ってしまう赤の他人だった。

だから、私は思い切って彼女にこう提案した。「現実で会わない？」と。

もちろんネットで親友だからといって現実でも仲良くなれるとは限らない。相手に姿の見えないネットでは、いくらでも本当の自分を隠せてしまう。ネットでの私の親友は、誰かが被った仮面の可能性だけである。

でも私は会いたかった。現実でも親友になりたかった。たった一人、私が親友と呼べる彼女と。

時計が一時を指した。私は辺りを見回す。と、背後から肩をちよいちよいと突かれる。振り返ると、赤白の服を着てピンクに髪を染めた、私と同じ年くらいの女の子がいた。

「あの…Silicaさんですか？」

「は、はい。そうです…」

「良かった！ 初めまして、篠崎里香です。一昨日ぶりだね！」

「あ、は、はじめまして…？ 綾野珪子です…」

現実の彼女は向こうと同様、快活な少女だった。ちよつと気後れしちやいそうになるけど、思い切って彼女に右手を差し出す。

「あ、あの！ わ、私の親友第一号になってなって下さい！」

里香さんは一瞬キョトンとして、それから笑顔で

「それは無理かな〜」

そう言った。私はショックを受けた。心の中では分かっているけど、まさか本当に断られるとは思っていなかった。おずおずと引つ込める手を、でも里香さんは右手で掴んだ。

「だってアナタの親友第一号はLizだもん。篠崎里香と綾野珪子は今初めて会ったんだから新しい友達、新友だよ。だから、新友第一号で、親友第二号ね」

そう言って笑った。私はポケンとして、でも頭が言われたことを理解出来たら自然と笑えた。

この日から私は本当は一人の、でも二人の親友を持った。



一年連れ添った君に別れを告げるときが来た

次は君と共に歩もう

『手帳』



小学生「休みもうちょっと欲しかったけど久しぶりに  
クラスのみんなに会えて楽しかったなー」

中学生「わー休み明けのテスト来週だっさ

授業も明日からだしやだなー」

高校生「なんか周りのやつらが休みの間何百時間

勉強したーとか言い合ってた焦った！

自分もそろそろやらねば」

受験生「塾の講習とか予定入れすぎてあつと言う間な

長期休みだった…けどあの大学なんとしても

受かりたいから頑張った！」

よっしゃー受かったぞ！

大学生「……あれ、2限終わってる…

まあいいやもつかい寝よう…」

初心に戻ろう…

新学期

小学校を卒業した後、こつそり埋めたタイムカプセル。その存在を思い出して、記憶をたよりに掘り出した。埋めた時はきれいな銀色だった箱は、今ではくすんでいて、壊さないようにふたを開けると、一通の手紙が入っていた。

「……くんへ、……より」

心臓が跳ねる音が聞こえた気がした。

卒業と同時に引越してしまった、隣の席の女の子。教室で受け取って、でも読むには悲しすぎて、そのまま未来に封印してしまった手紙。

ゆっくり、ゆっくり、

開いて読むと、ひとつの思いが、そこにはあった。

ふと手に入れた、新しい過去は、

未来から逃げたぼくの心を揺さぶって、しめつけて。

何度も何度も訪れる、新しい時間の中で。

僕はまた、過去ばかりを眺めていた。

“discovery”



新しき  
年を伝える  
除夜の鐘  
今年こそはと  
心新たに

『今年は何を成し遂げますか？』

コンテスト結果

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
01	無題 (空けましておめでとう)	1 pt	8 位	1 sp
		たった1文字の変更で、見飽きたフレーズにぐっと新鮮な意味合いが宿ります。いったんリセットして空き地にして、そこにまた新しいものを埋めていこう。 ナイス・アイディアな今年の表紙でした。 特別賞：賀賞 from Z班 (賀正ですし。)		
02	新年における定型文	4 pt	6 位	2 sp
		定型文、というフレーズが醒めた感じで良いですねえ。よっしゃ、と上がってきたテンションに、さらっと水をかけて軽いおまけつき。構成が巧かったです。 演習室直送の親しみやすさも評価されて、今週のイチオシフレーズ大賞です、おめでとう!! 特別賞：演習室で水曜日に印刷したで賞 from T班 (用紙の左上に数字) 早速後回しにしちゃってるで賞 from W班 (新年早々目標達成が危ういから) イチオシフレーズ：「よっしゃ!」「来年から頑張る」×2		
03	新快速の最期	3 pt	7 位	0 sp
		わああん、最期なんだ、復活しないんだ。かわいそー、ほんといいヤツだったのに。と惜しむくらいに新快速くんのキャラがしっかり立っていました。さすがのサイコロ旅メンバー。鉄道への愛が違いますね。		
04	そうだ故郷、行こう。	18 pt	1 位	0 sp
		過去へと戻る思い。幽霊さんに助けってもらって、忘れていた大切なものに気づく展開が分かりやすく、しつとりと王道ドラマに仕上がっています。白化粧が、彼女の儚さをいっそう際立たせて。 うん、これは作者バレするはずないね！おめでとう ゴールド・メダル!!! イチオシフレーズ：「そうだ故郷、行こう。」 そうだ故郷、行こう。の「、」		
05	新学期	8 pt	4 位	3 sp
		さすが短文の名手。「なるべく」のひとことに弱気がにじんで、友人トークのような親しみやすさでした。 1回分の出席点をなげうってまで、みんなを楽しませてくれた演技賞ナイス！おめでとう最多特別賞!! 特別賞：授業に出ま賞 from Q班 新学期じゃなくてもちゃんと学校に行きま賞 from S班 (そのままです) 授業に出ま賞 from U班 (共感したから) 進級しま賞 from X班 (「絶対」でない) イチオシフレーズ：「今日からは授業になるべく出よう」×2		
		0 pt	9 位	2 sp
		こんな甘い展開あるわけない！とツッコミしきりでし		

06	新友	<p>たが。            ネットでの親しい知り合いがリアルに出会ったら、最初はこんなふうかなあという臨場感が、とてもうまく描き出されていました。            来週の百合展開へつづく??            特別賞：♂×2じゃなくてよかったで賞 from V班            そんなうまい話あるわけないで賞！ From Y班（ネット上、女の子とはおっさんだ）</p>			
		<table border="1"> <tr> <td>9 pt</td> <td>3 位</td> <td>0 sp</td> </tr> </table>	9 pt	3 位	0 sp
9 pt	3 位	0 sp			
07	手帳	<p>まんなかの広い余白が絶妙です。            古い手帳をぱたんと閉じて、新しい手帳をそっと開くまでの心の動きが読みとれるような。日記帳とかだと生々しすぎる。「手帳」というさりげなさが、くつきり生きてます。            おめでとうブロンズ・メダル！</p>			
		<table border="1"> <tr> <td>0 pt</td> <td>9 位</td> <td>1 sp</td> </tr> </table>	0 pt	9 位	1 sp
0 pt	9 位	1 sp			
08	初心に戻ろう… 新学期	<p>だんだん進歩してきたはずなのに、おかしいな大学生という笑いでおさめて、ラストに小さくメッセージ。上げて下げて、また上げるという波のつくりかたが変化を演出して良かったです。            特別賞：授業に出ま賞 from Q班            イチオシフレーズ：「まあいいやもっかい寝よう」</p>			
		<table border="1"> <tr> <td>12 pt</td> <td>2 位</td> <td>0 sp</td> </tr> </table>	12 pt	2 位	0 sp
12 pt	2 位	0 sp			
09	discovery	<p>未来へと、どうしても臆病になってしまう心の動きは、小学生のあの時も、そして今もあんまり変わらないんだなあ。そんな主人公の内気ぶりが好感を誘います。            詩的な言葉選びの巧みさは、さすが！のシルバー・メダルでした、おめでとう!! さて、今回の作者コメントは、どれくらい遅れて到着するのでしょうか。            イチオシフレーズ：「新しい過去」「何度も何度も訪れる、新しい時間の中で。僕はまた、過去ばかりを眺めていた。」</p>			
		<table border="1"> <tr> <td>5 pt</td> <td>5 位</td> <td>1 sp</td> </tr> </table>	5 pt	5 位	1 sp
5 pt	5 位	1 sp			
10	今年は何を成し 遂げますか？	<p>ラストはカッコリしたフォントで、しっかり新年への決意をまとめました。            折り目正しく、今年こそは！            特別賞：たこの伝き賞 from R班（横読みすばらしいです）</p>			